

これにきめた

御津南部小・1 いまいずみ そうま

これにきめた。お日さまがよくあたってみどりいろのすいか。もち上がらない大きいすいか。このすいかですいかわりをしよう。おふろみたいないれいれいぞうこにすいかをいれた。ぼくもばあばも、すっぽり入るれいぞうこは、ゆきがふったみたいにつめたくてきもちがよかった。まだかなあ。早くたべたいな。ひえひえになったすいかですいかわり。タオルで目かくしすると、まつくら。よるになつたみたい。ドキドキしたけれど、ぼくは、いちばんにわりたいとおもってゆう気を出した。ゆつくりあるくと、みんなが、

「右、右。」

「まえ、まえ。」

と、おしえてくれたので、ぼくは、いっぽずついてねいにあるいた。もうすいかのちかくかなとおもって、とまるとまた、

「まえ、まえ。」

ときこえた。ぼくは、すいかのことをかんがえながら、ちよこちよこあるいた。もっているぼうですいかをツンツンさがした。コンコン。

「ここだ。」

「よし、ぼくがぜったいにわってやる。」

おもいきりぼうを上にあげてふりおろした。バキッ！あれ？すいかの音じゃないぞ。目かくしをはずすと、ぼうがおれていた。

「わははは。」

「ぼうがみじかくなっちゃった。」

ぼくは、本とうはぼうでわりたかったけれど、すいかをたべたいからうれしかった。ざくざく。ジュワ―。まつ赤なすいか。まつくろなたね。あまいつめたい、わあ、おいしい。ぼくは、すいかが大すき。たねだつてたべちやう。でも、きようはみんなでたねとばし。ブツ、ブツ、ピュッ。ああ、たのしかった。